

## 「なぜ」を深める科学的思考文化の浸透

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。「なぜ」を深める科学的思考文化の浸透を重点目標として教育活動を行っています。

## Super Science Highschool (スーパー サイエンス ハイスクール) って何？

### ◆文部科学省の指定を受けた、先進的な理数教育を実施する高校

4年目の今年度は、新しい時代をたくましく生き、世界に躍進する人材の育成を目標に、生徒の多彩な進路実現を目指します。

### ◆全校生徒が課題研究を行い発表する

本校のSSH事業の特徴は、理系に限定せず、生徒全員が対象であることです。生徒は3年間を通じて課題研究に取り組みます。研究発表で得た知識や経験は、進路実現にも良い影響を与えています。SSH1期生である今春卒業した生徒の国公立大学合格者数(右表)は、昨年より大きく増加していることがわかります。

国公立大学合格者数の比較

	令和元年度	令和2年度
国立大学	67名	89名
公立大学	21名	38名
合計	88名	127名

### ◆コロナ禍での今年の取り組み

感染対策を取りながら、オンラインでの研修、体験活動の充実、出張講座の充実を図ります。5月から生徒は一人一台端末を利用し始めました。タブレットを活用した授業、課題研究活動を推進していきます。

## 1年生「有法子」

### 有法子(ユーフーズ)とは？

本校卒業生で、新幹線生みの親である十河信二氏の座右の銘です。「方法はある。知恵を出して成せばなる(何事にも積極的に意欲を出せ)という意味です。



十河信二氏  
(産経新聞社撮影)

### 基礎科学セミナー

科学技術に対する興味・関心を向上させる授業を行います。また、論文作成やプレゼンテーションスキルも習得できます。

## 2・3年生「マルチサイエンスI・II」

### どんなことをしている？

1年生で学んだことから、教科を問わず、自分の興味のある課題を設定し、グループで研究発表を行います。研究手法は実験、取材、アンケートや動画撮影、制作など、多岐に渡ります。グループごとに担当教員がつき、指導と助言を行います。3年生は英語で研究発表を行います。

### 課題研究のテーマ例

- ・We are 魚派 ~漁業で支える愛媛の未来~
- ・はたらけ！自然免疫~自然免疫活性化物質の探求~

## 令和3年度の活動がスタートしています

### ◆1年生×西条市役所「防災」講演会

講演テーマは、西条市の防災の課題について。ハザードマップを見て、警報発令の仕組みを聞きました。



### ◆2年生 研究テーマの設定

マルチサイエンスIの講座では、グループで話し合い、研究テーマを決めています。



### ◆3年生 研究発表会準備

研究発表会は、質疑応答も全て英語で行います。そのため英語科の教師と練習を繰り返します。

